

県内最長

上曽トンネル開通

岡岡道路建設課
Tel 43・1111

トンネルの概要

- ・事業箇所
石岡市上曽～桜川市真壁町山尾
- ・トンネルの長さ
全体延長 3.54km (石岡市側 1.94km)
- ・石岡市区間延長
2.95km (内トンネル 1,939 m)



トンネルが開通して

石岡市と桜川市が連携し、平成2年から調査、平成30年度から整備を進めてきた「上曽トンネル」が、9月27日に開通しました。これにより、従来の危険な上曽峠ルートを通らず、両市を安全かつ円滑に行き来できるようになりました。

また、日常生活の利便性が向上するほか、災害時における緊急輸送や両市間の交流促進及び沿線地域の振興に寄与することができます。

さらに、県南地域と県西地域が結ばれ、茨城空港までを東西に結ぶ基軸も形成されることから、県南・県西地域間の連携強化が見込まれ、地元産業や物流・観光を支える路線としても期待されています。

トンネル開通でもっと便利に

従来の上曽峠を車で超えるには、17分ほどかかっていましたが、トンネルの開通により、制限速度50キロで走行すると約7分で通過できるようになりました。

これにより、移動時間が大幅に短縮され、より便利で快適な交通アクセスが実現しました。また、これまで1日約1400台だった交通量が、約4倍の6000台に増加すると見込まれています。

貫通した時の様子

令和5年5月9日、トンネルが貫通しました。開通に向けた工事が大きく前進したことで、利便性向上などの期待がより一層高まりました。



合同防災訓練

供用開始を控えた9月17日、トンネル内で合同防災訓練が行われました。

トンネル内での事故対応力の向上と広域連携による防災体制の強化を図るため、石岡市消防本部、筑西広域市町村圏事務組合消防本部、茨城県警などが参加し、それぞれが連携を取りながら救助や消火の訓練を実施しました。

訓練では、石岡市側坑口から約700メートルの地点で乗用車とワゴン車が正面衝突し、乗用車内に人が閉じ込められワゴン車から火が出たとの想定で行われ、統率された動きで素早い救助が行われました。

トンネル通過時の安心・安全確保に向けて、有事の際にもすばやく対応できる体制づくりを進めていきます。



トンネルウォーク

9月20日、市制施行20周年記念事業の一環として、供用開始前の上曽トンネルを歩いて体験できる「トンネルウォーク」が開催されました。当日は、約6000人の方にご参加いただき、会場は大人から子どもまで多くの人出で賑わいました。

普段は車両などが行き交うトンネル内部を、スタンプラリー形式でゆつくりと歩きながら楽しめる特別なウォーキング大会となりました。用意した1500枚のスタンプラリーカードは開始からわずか2時間ほどで配布が終了し、トンネル開通への関心の高さがうかがえました。

参加者からは「非日常の体験ができて楽しかった」や「これから開通するのが楽しみ」といった声が寄せられました。

上曽トンネル開通式

9月27日、上曽トンネル開通式典が石岡、桜川両市で開催されました。

石岡市側坑口では、テープカットや交通安全祈願などが行われ、関係者らを乗せた車両が通り初めとしてトンネル内を走行しました。

トンネルの開通により石岡、桜川両市にとどまらない、地域間ネットワークの促進、茨城県全体の発展に大きく寄与し、防災面でも重要な役割を担う道路として期待されています。

